



Neural Pocket

Amazon ECS / AWS Lambdaを組合せた 類似商品検索及びリアルタイム在庫検索システムのご紹介

登壇者紹介



南沙佳

ライフスタイル事業本部



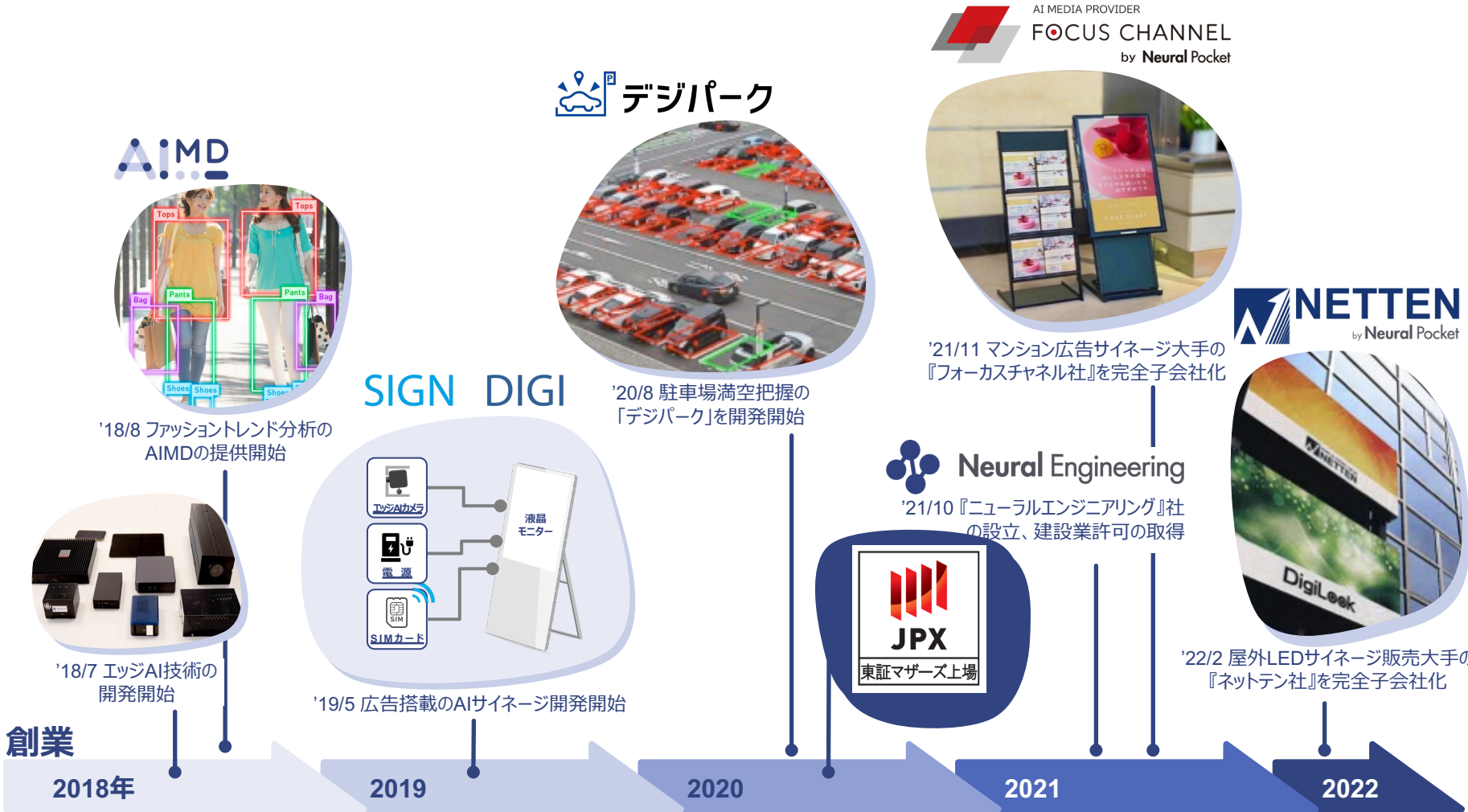
吉田明広

ライフスタイル事業本部

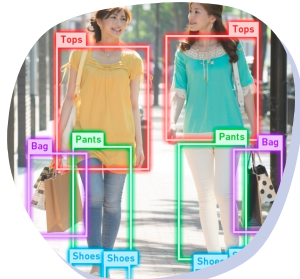
VISION : ニューラルポケットが描くAIスマートシティの姿



会社沿革

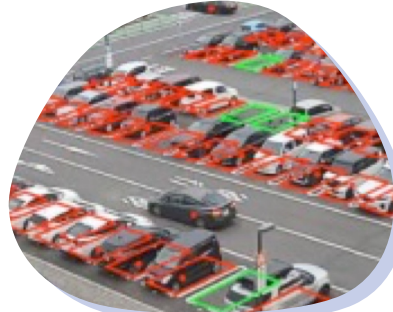


AIMD



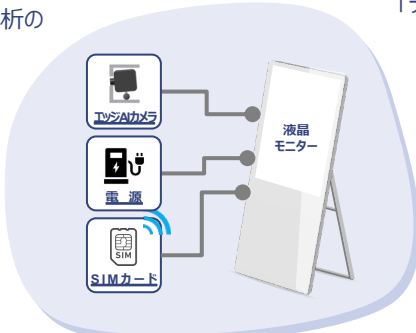
'18/8 ファッショントレンド分析のAIMDの提供開始

デジパーク



'20/8 駐車場満空把握の「デジパーク」を開発開始

SIGN DIGI



'19/5 広告搭載のAIサイネージ開発開始

AI MEDIA PROVIDER
FOCUS CHANNEL
by Neural Pocket



'21/11 マンション広告サイネージ大手の『フォーカスチャンネル社』を完全子会社化

NETTEN
by Neural Pocket



'22/2 屋外LEDサイネージ販売大手の『ネットテン社』を完全子会社化

Neural Engineering

'21/10 『ニューラルエンジニアリング』社の設立、建設業許可の取得



創業

2018年

2019

2020

2021

2022

小売店在庫分析では、データ集約~行動変容を繋げ、大きな価値創出を狙う



- アパレル
- 人流・交通量、駐車場
- リアル広告
- 小売店在庫



- 非構造化データ(例:画像)→構造化(深層学習 etc.)
- データの集約

リアルタイム在庫計算システム



- データ分析によるインサイトの抽出
 - 機械学習 / 深層学習 etc.
- 意思決定のサポート
 - 数理最適化 etc.

類似商品検索システム



- ムダの削減 (在庫破棄削減 / 混雑解消 etc.)
- 利便性向上 (新しい選択肢の認知)



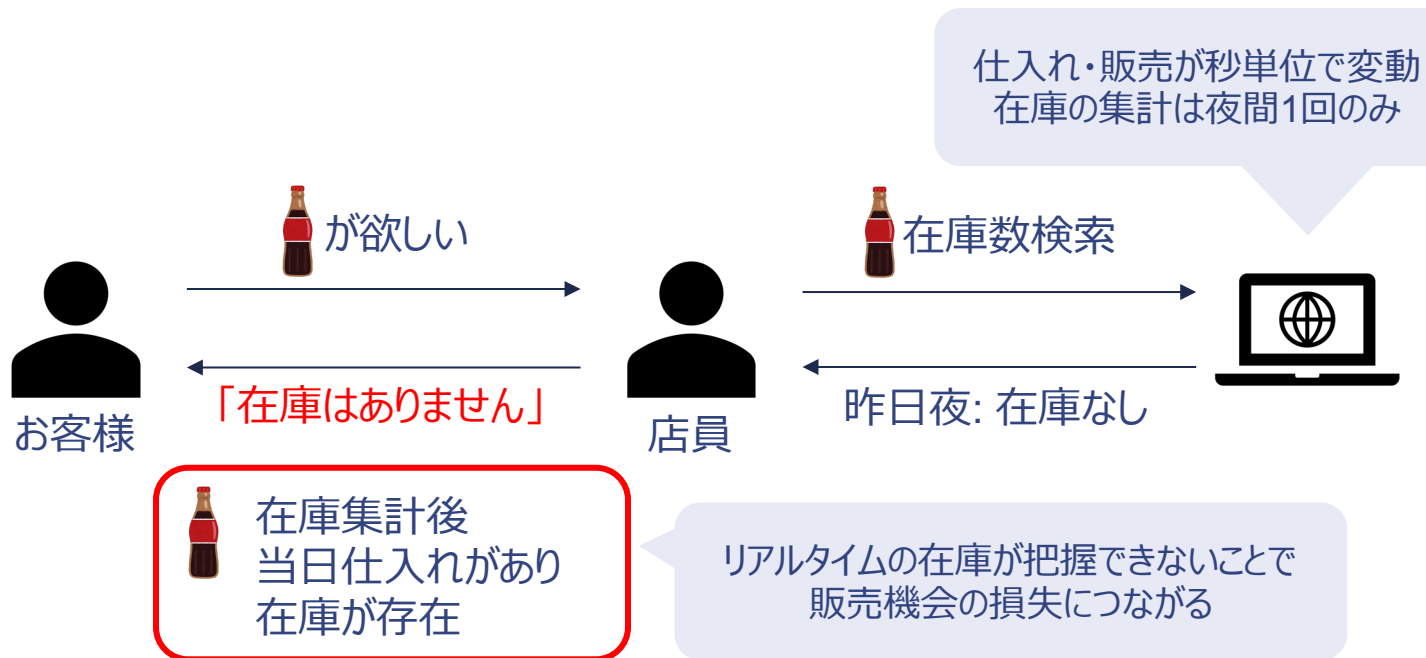
- 情報の可視化
- 最適候補の提案

ユーザーに対する候補提案UI

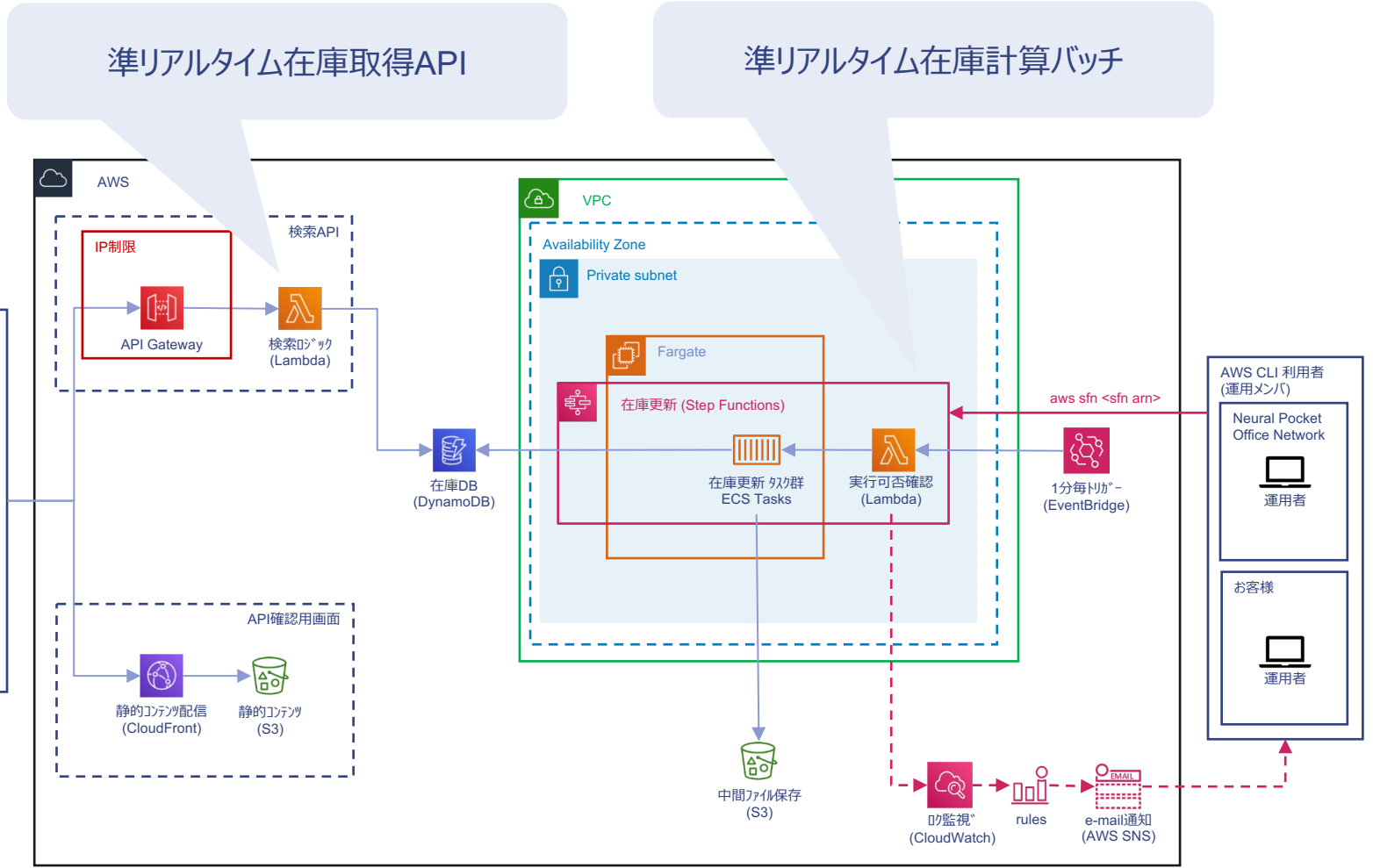
- **リアルタイム在庫計算システム**
- 類似商品検索システム

小売業界のビジネス課題

商品数・店舗数が多く、リアルタイムの在庫把握が困難



システム構成図



準リアルタイム在庫取得API ~API紹介~

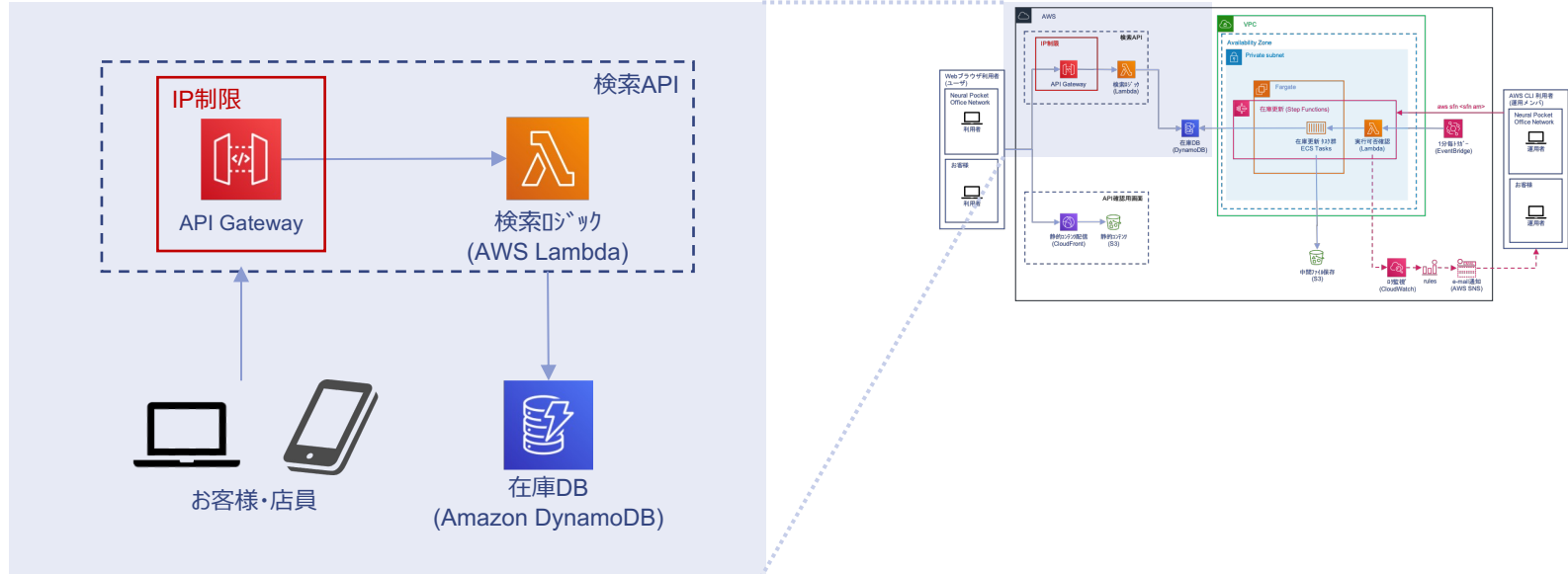
お客様や店員の方が準リアルタイムで在庫情報を取得できるようなAPIを作成

- API種類
 - GET
 - {itemCd}/{storeId}
 - 単一アイテム & 単一店舗の在庫数
 - {itemCd}
 - 単一アイテムに対する全店舗の在庫数
 - POST
 - Body
 - itemCdList
 - storeCdList
 - 複数アイテム×複数店舗の在庫をまとめて取得

複数のアイテム・店舗を同時検索可能にすることで、APIの呼び出し回数を削減

準リアルタイム在庫取得API ~技術紹介~

お客様が利用することを想定し、**スケーリング**を考慮可能

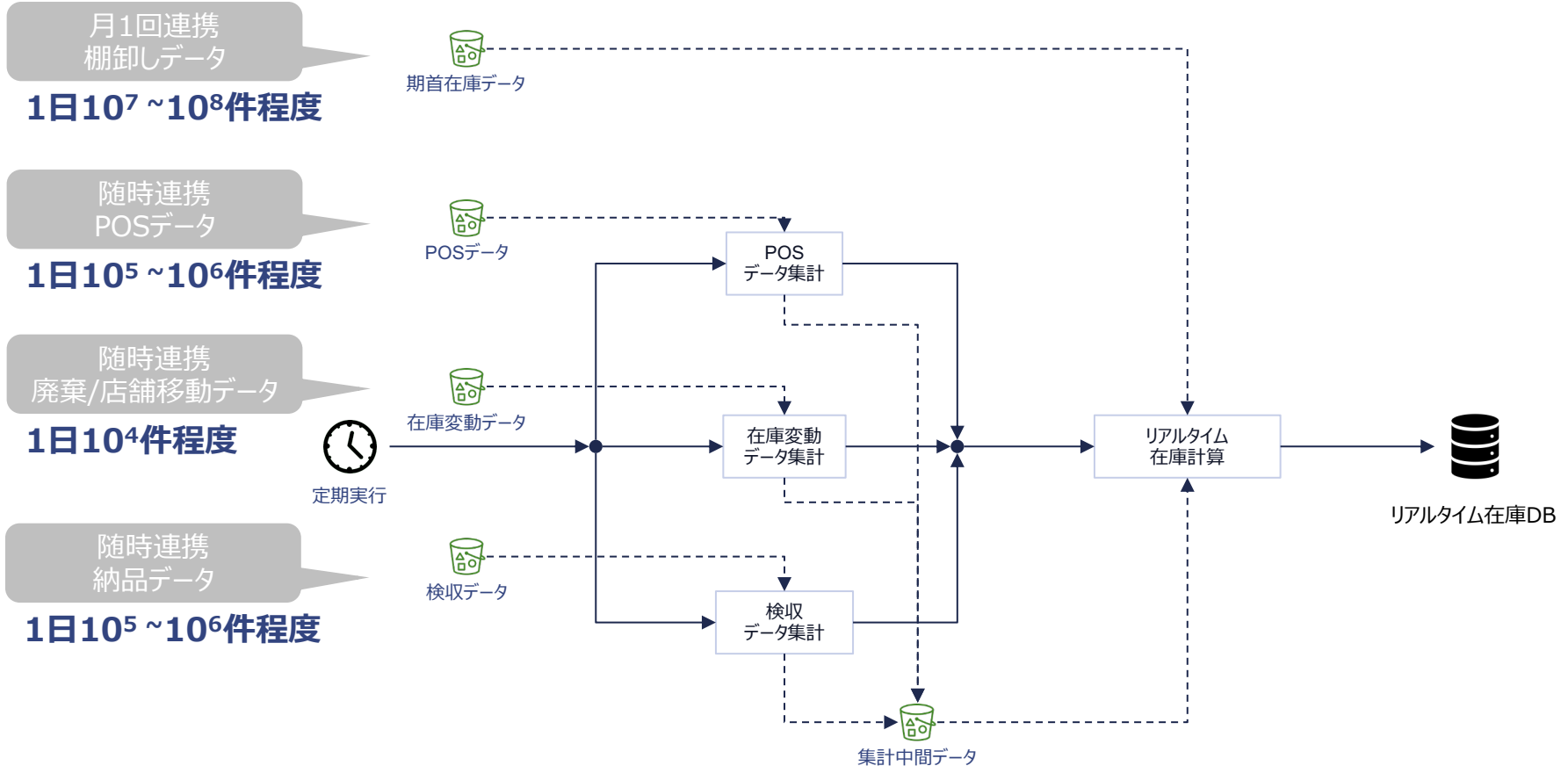


全国からのアクセスが想定され、スケーリング可能なAWS Lambdaを使用

Serverlessで環境構築/メンテナンスが不要

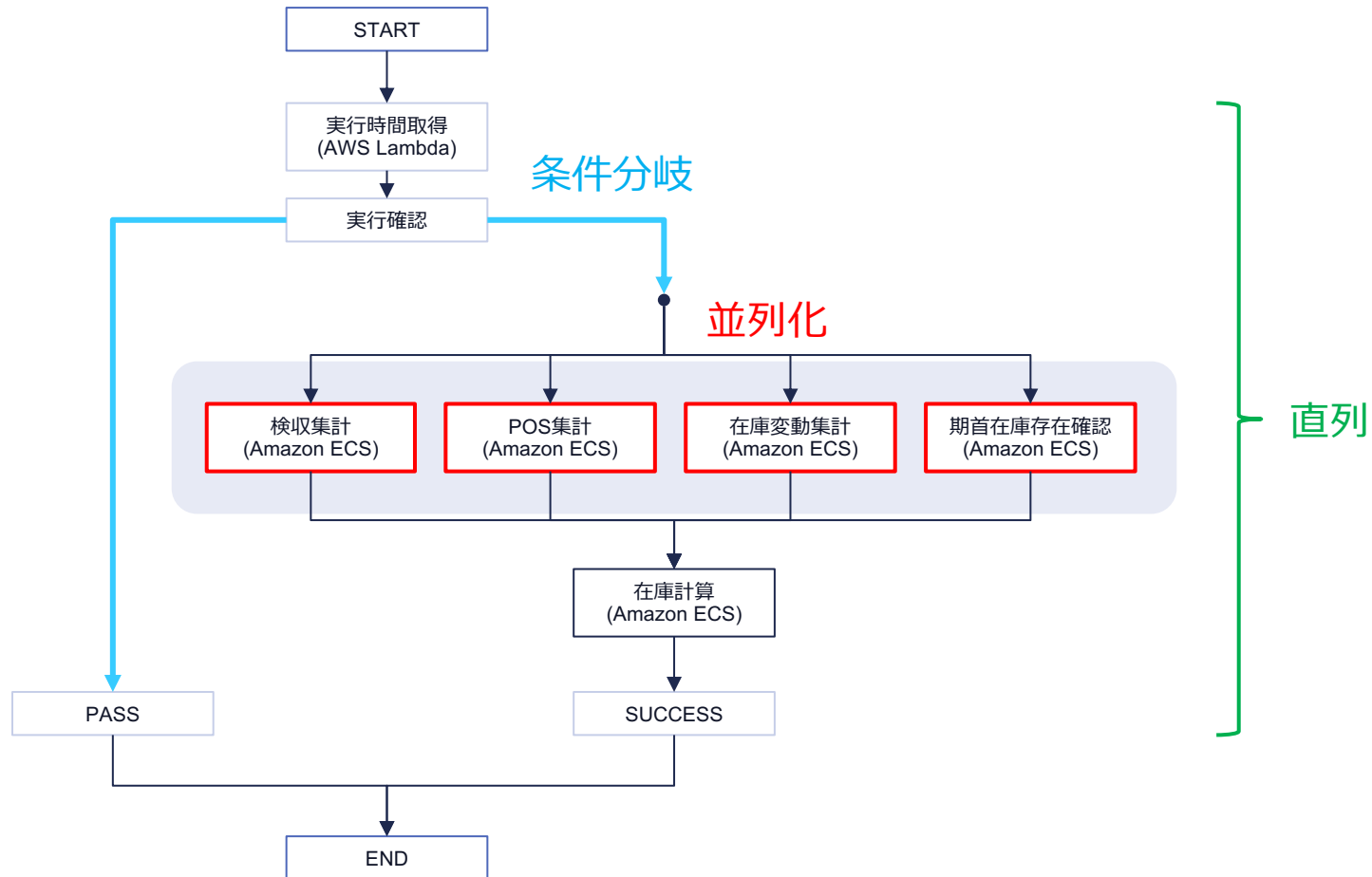
フロントも合わせて開発したため、Node.js + TypeScriptで実装

連携されるデータと在庫計算の流れ



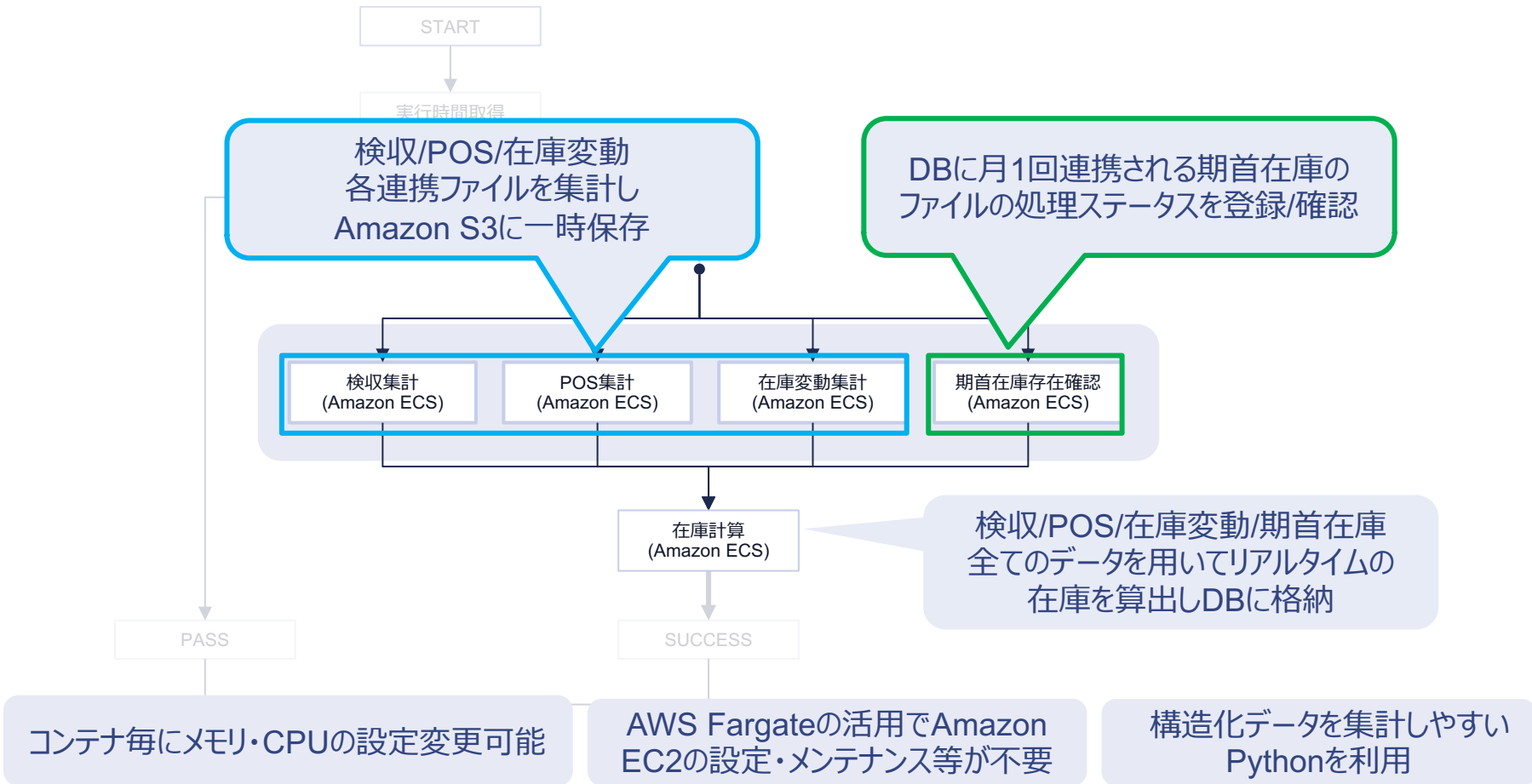
準リアルタイム計算バッチ ~AWS Step Functionsによる処理順序指定~

タスクの条件分岐・並列・直列の実行順序を定義可能



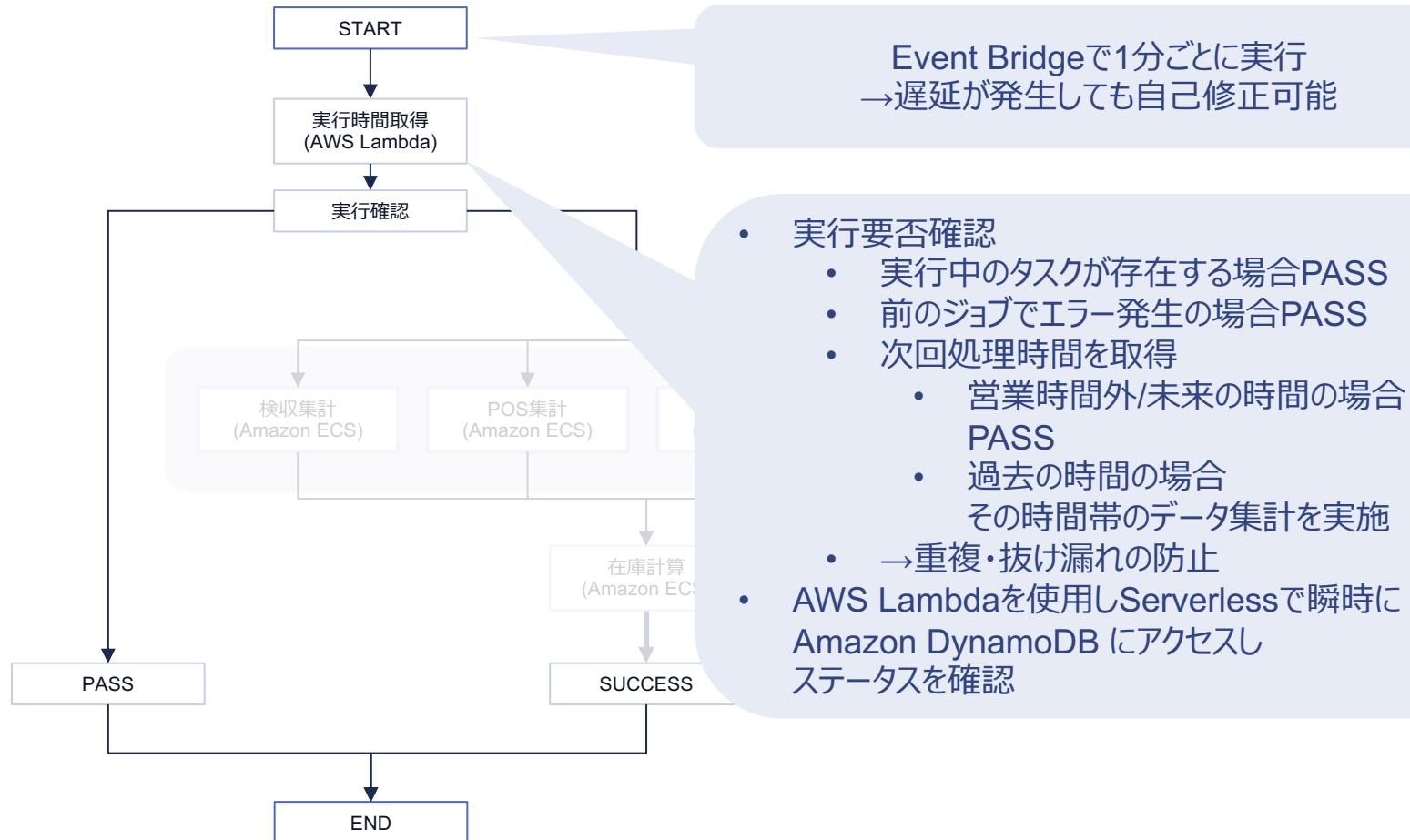
準リアルタイム計算バッチ ~AWS Step Functionsによる処理順序指定~

ホストマシンの設定が不要となり、複数タスクをそれぞれのコンテナとして起動可能
(タスク失敗時はタスク単位で自動で規定回数まで再実行)



準リアルタイム計算バッチ ~AWS Step Functionsによる処理順序指定~

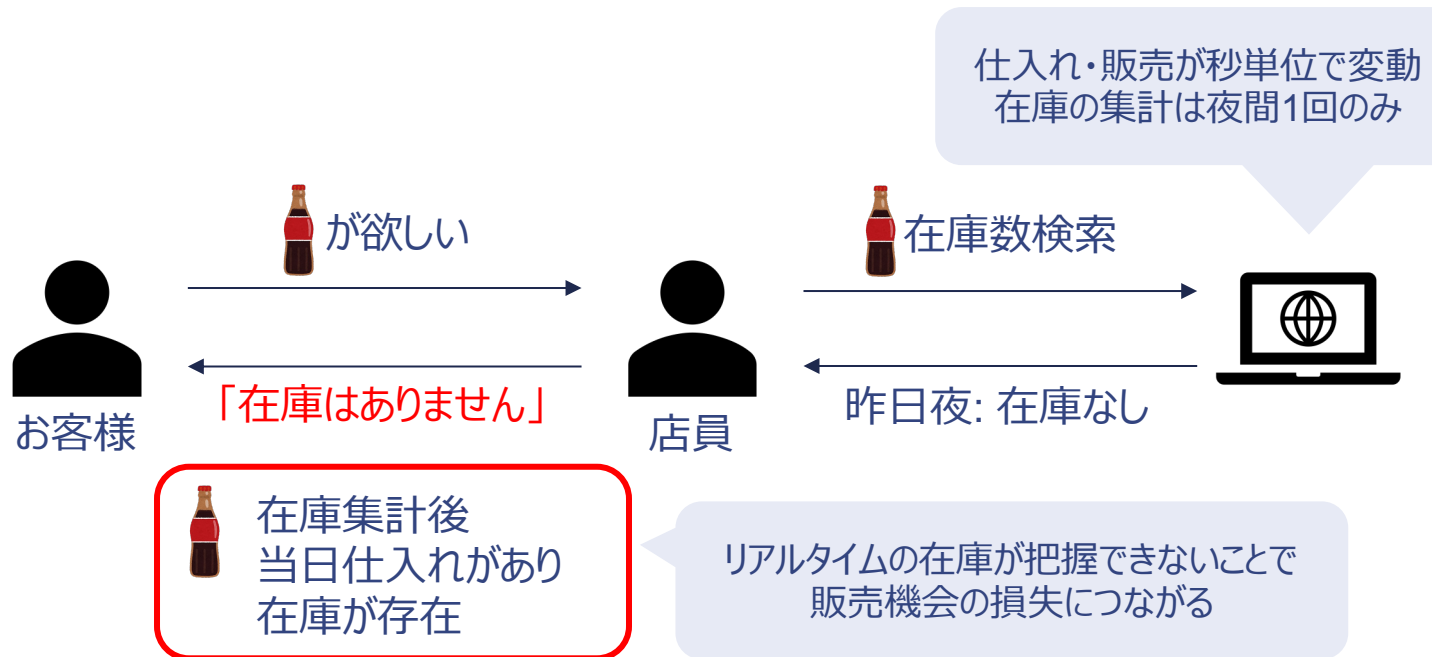
タスク実行の**重複・抜け漏れ**を防ぎ、**準リアルタイム**で在庫を更新し続ける



- リアルタイム在庫計算システム
- **類似商品検索システム**

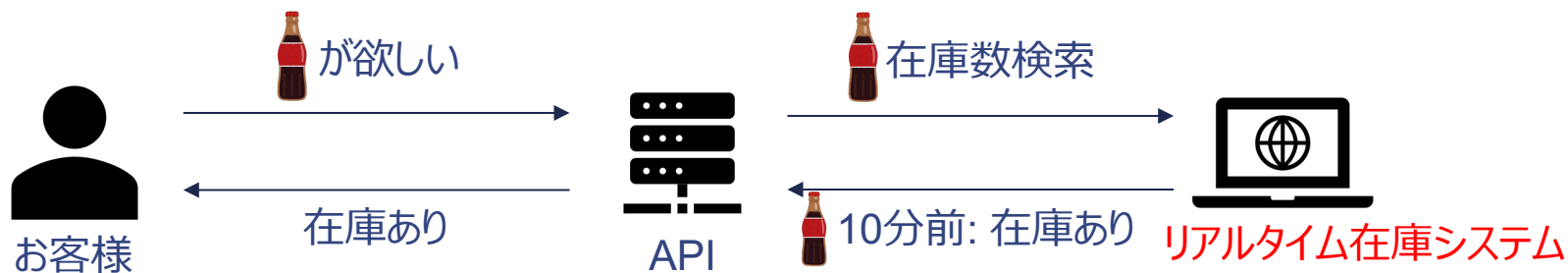
小売業界のビジネス課題

商品数・店舗数が多く、リアルタイムの在庫把握が困難



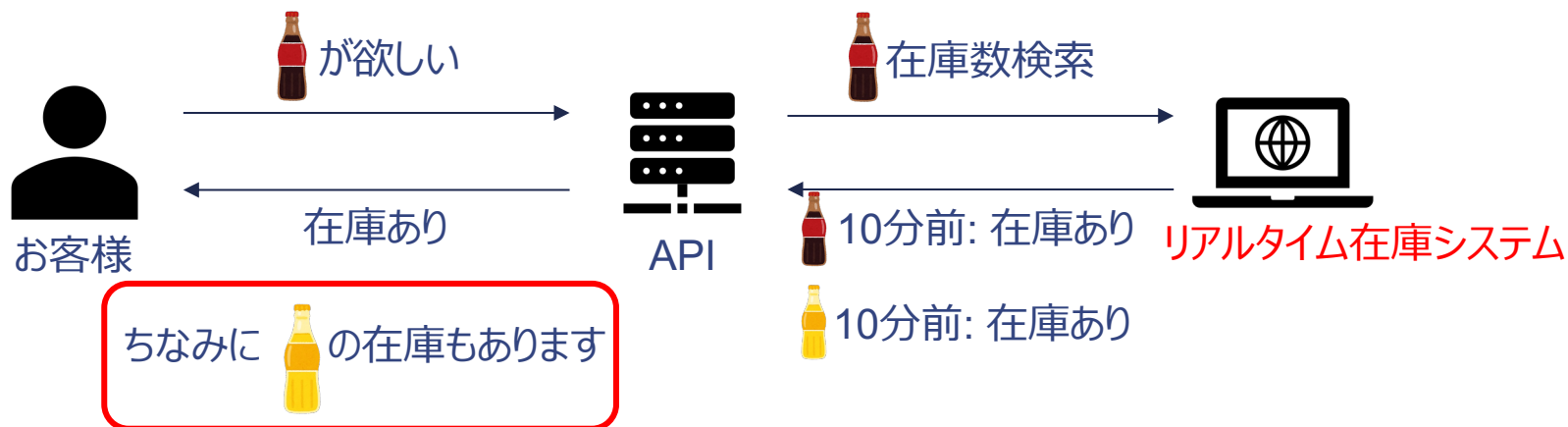
小売業界のビジネス課題

リアルタイム在庫システムの構築により誰でも在庫の把握が可能に

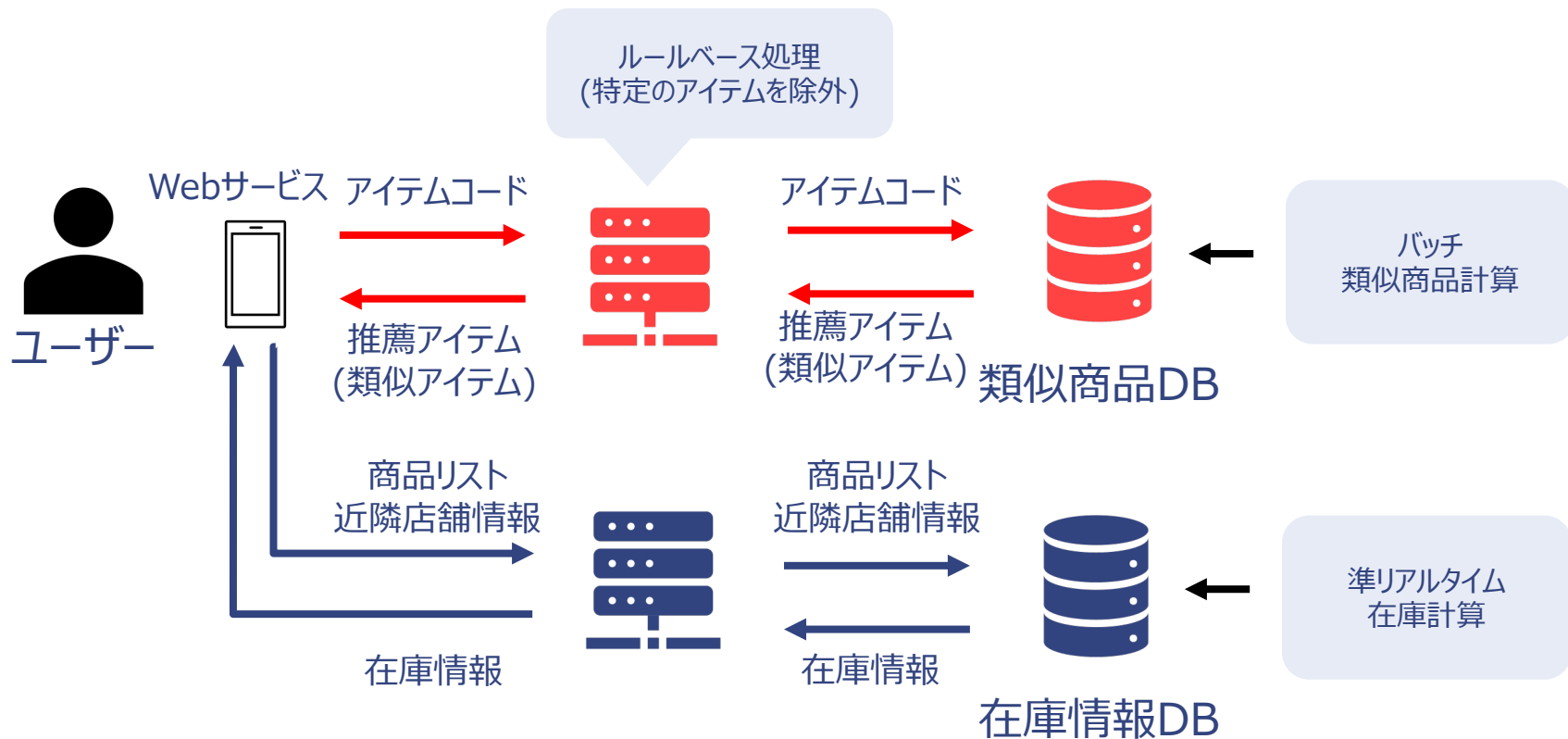


小売業界のビジネス課題

類似商品を含めた在庫情報を提供することで商品認知の機会を増やしたい

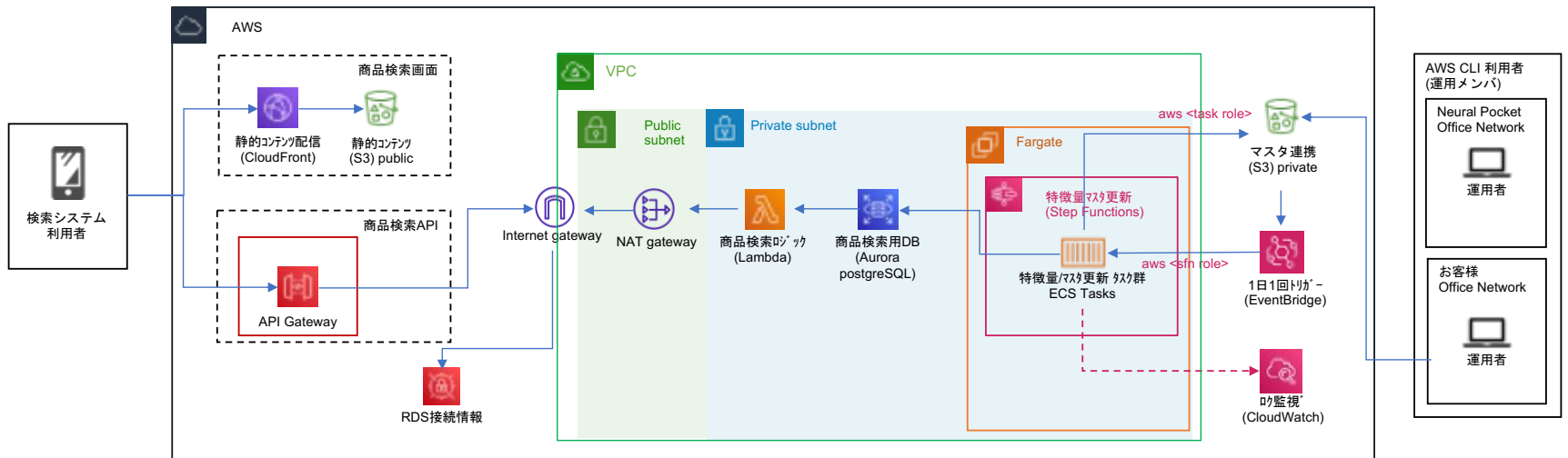


類似商品検索を含む在庫検索の流れ



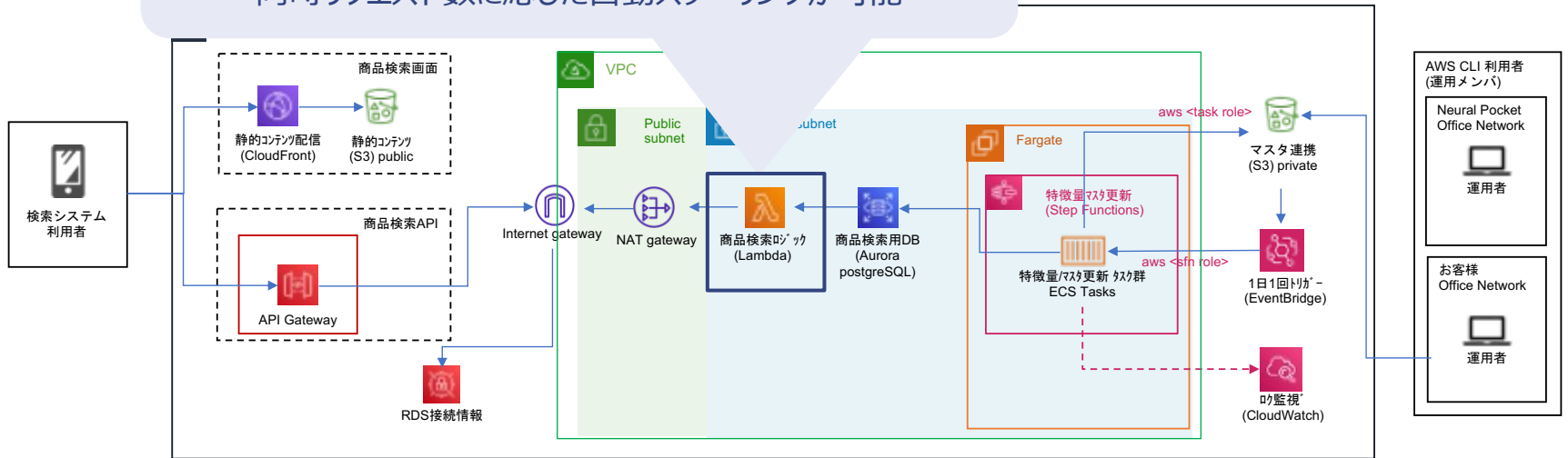
①類似アイテム検索 / ②在庫情報取得

類似商品検索システムの構成



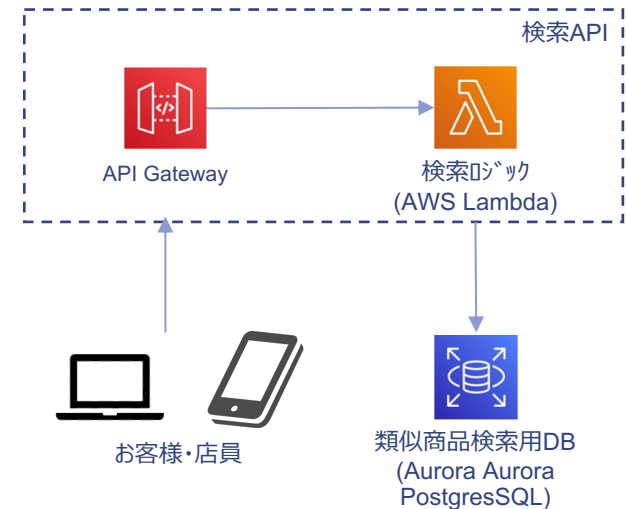
類似商品検索システムの構成

AWS Lambdaの活用(Serverless Framework)
 ↓
 同時リクエスト数に応じた自動スケーリングが可能



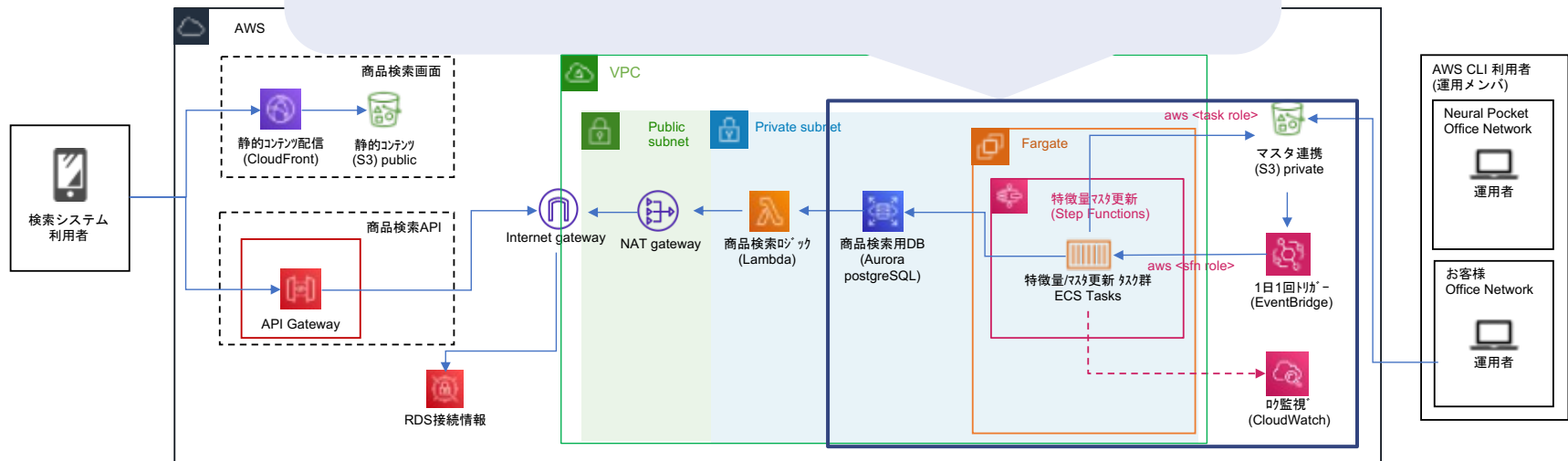
API (AWS Lambda + Amazon API Gateway) タスク紹介 / 技術選定

- 類似商品の検索
 - API種類
 - GET
 - {itemCd}
 - アイテム毎に類似商品を返すAPI
- AWS Lambda (Node.js + TypeScript)
 - Serverless Frameworkで環境構築が必要ない
 - 日本中のお客様からのアクセスを想定しているため、アクセス増加の際のスケール可能
- APIGateway (REST API)



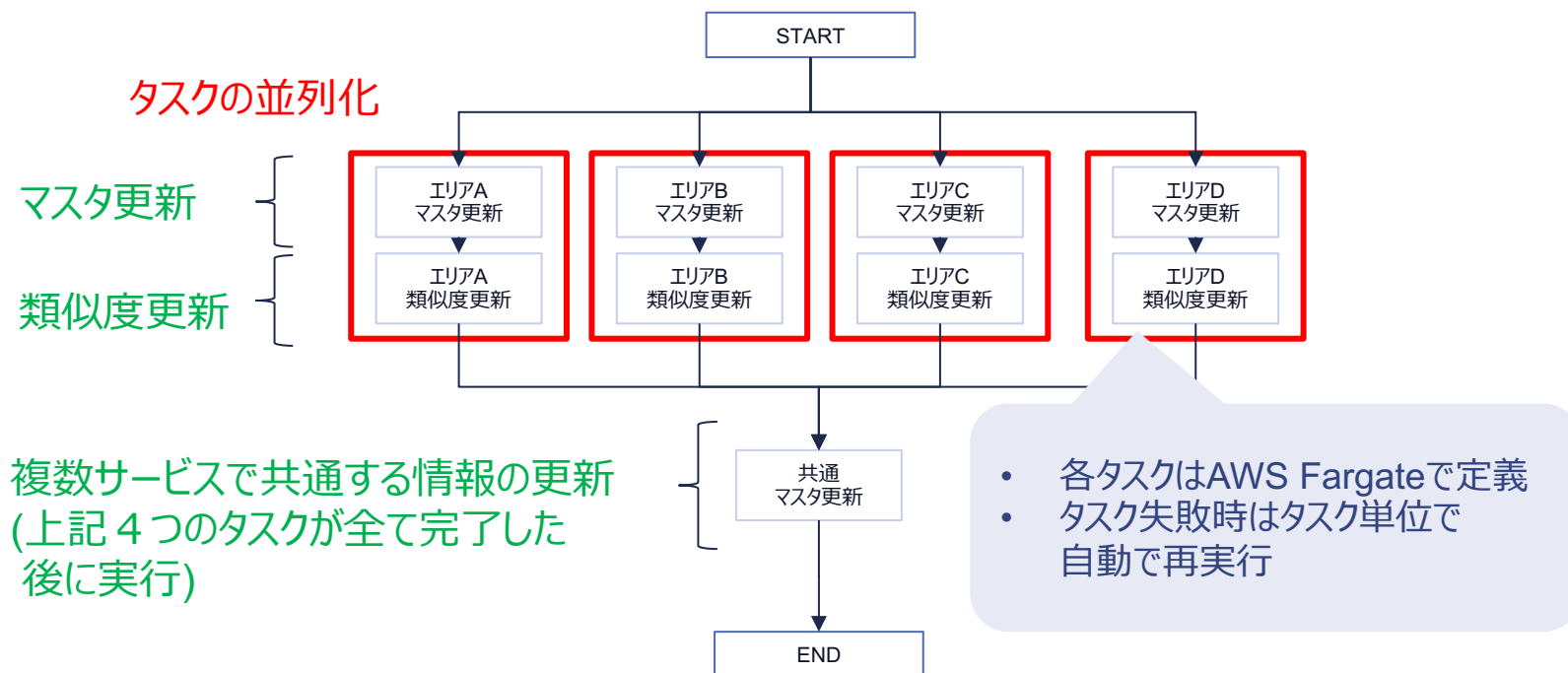
類似商品検索システムの構成

- AWS Fargate上でマスタ更新及び商品間の類似度*計算(後述) (1日1回定期実行)
- 複数のタスクを直列・並列実行するためにAWS Step Functionsの活用(次頁)



類似商品検索システムの構成 ～バッチ実行のAWS Step Functionsの構成～

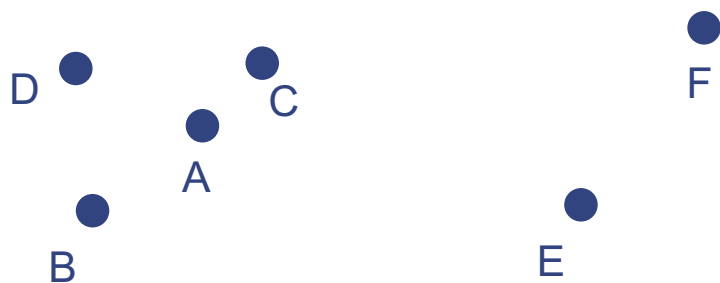
AWS Step Functionsの活用により、複数のタスクの**並列**・**直列**実行を簡易的に実行可能に



効率的な類似度計算

組合せ数が非常に多い状況で、全組合せの類似度を計算することなく、一定以上の類似度のペアを全て抽出したい

力任せに計算を行うと $\frac{n(n-1)}{2}$ 回の計算が必要 (n : データ数, $n > 10^5$)



距離行列

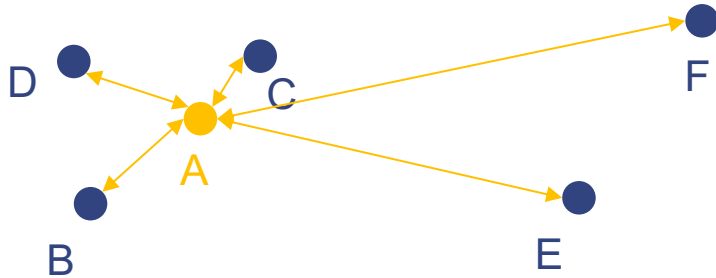
	A	B	C	D	E	F
A						
B						
C						
D						
E						
F						

The table shows a distance matrix for six data points (A-F). The diagonal elements are shaded, and the lower triangular region is highlighted in light blue. A box containing the formula $\frac{n(n-1)}{2}$ is placed in the cell corresponding to the intersection of row E and column A, indicating the number of calculations required for a brute-force approach.

効率的な類似度計算

組合せ数が非常に多い状況で、全組合せの類似度を計算することなく、一定以上の類似度のペアを全て抽出したい

- ① 一部のデータ(アンカー)を抽出し、アンカーと他の全アイテムとの類似度の計算を行う



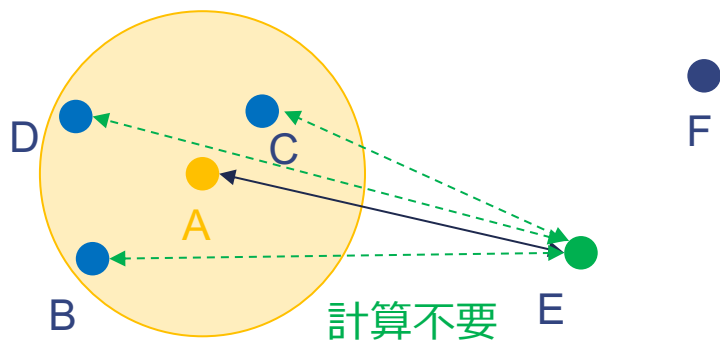
距離行列

	A	B	C	D	E	F
A	0	0.2	0.1	0.3	0.7	0.8
B		0				
C			0			
D				0		
E					0	
F						0

効率的な類似度計算

組合せ数が非常に多い状況で、全組合せの類似度を計算することなく、一定以上の類似度のペアを全て抽出したい

- ① 一部のデータ(アンカー)を抽出し、アンカーと他の全アイテムとの類似度の計算を行う
 - ② アンカー以外のデータ(クエリ)を1つ抽出
- クエリとアンカーの距離が遠い場合、アンカーに近いデータとクエリの類似度計算は不要



距離行列

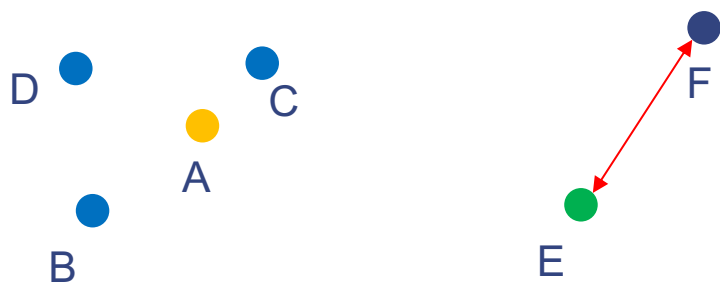
	A	B	C	D	E	F
A	0	0.2	0.1	0.3	0.7	0.8
B		0			計算不要	
C			0			
D				0		
E						0
F						0

効率的な類似度計算

組合せ数が非常に多い状況で、全組合せの類似度を計算することなく、一定以上の類似度のペアを全て抽出したい

- ①一部のデータ(アンカー)を抽出し、アンカーと他の全アイテムとの類似度の計算を行う
- ②アンカー以外のデータ(クエリ)を1つ抽出
クエリとアンカーの距離が遠い場合、アンカーに近いデータとクエリの類似度計算は不要
- ③残ったペアのみ計算

※実際はアンカーを複数用意する



距離行列

	A	B	C	D	E	F
A	0	0.2	0.1	0.3	0.7	0.8
B		0			計算 不要	
C			0			
D				0		
E						0
F					0.4	0

テストについて

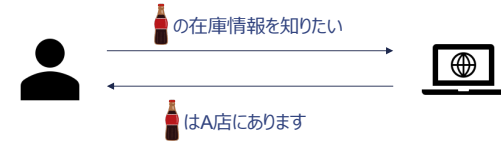
	ツール	選定理由
API単体テスト	Postman	<ul style="list-style-type: none">• アプリ上でテストケースの追加、実行が容易• Jsonファイルを出力して共有が容易
API負荷テスト	Taurus	<ul style="list-style-type: none">• jmxファイルの共有のみで他の端末でも簡単にテスト実行可能• 複数のテストツールのラッパー
Batch単体テスト	PyTest	<ul style="list-style-type: none">• 書きやすさ
UIテスト	Cypress	<ul style="list-style-type: none">• コマンド毎に画面のスナップショットを保存可能

本プロジェクトで使用した技術スタックについて

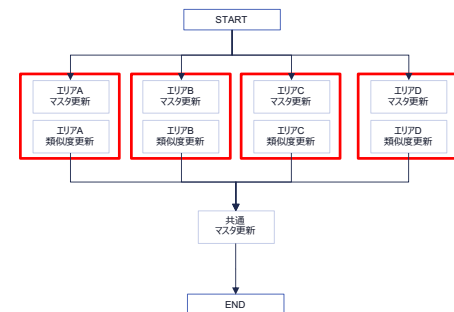
	技術スタック
バックエンド	<ul style="list-style-type: none">• TypeScript / Serverless / Node.js (API)• Python (Batch)
インフラ	<ul style="list-style-type: none">• 各種AWSサービス (Amazon S3 / AWS Fargate / AWS Step Functions / AWS Lambda / Amazon DynamoDB / Amazon Aurora PostgreSQL etc..)• Terraform
フロントエンド	<ul style="list-style-type: none">• React• TypeScript

まとめ

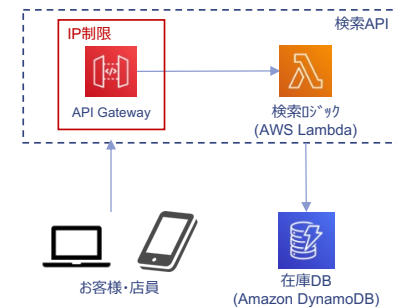
- 商品数・購買数が多い小売業態において準リアルタイムで在庫計算システム及び類似商品検索システムについてご紹介

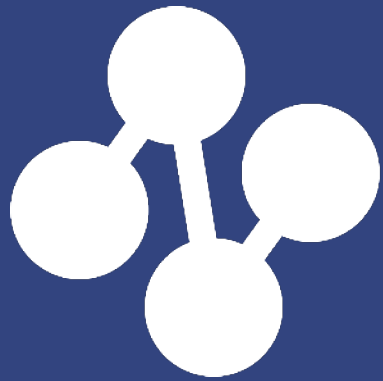


- バッチ処理において、複数のECSタスクを直列・並列に実行するためのAWS Step Functionsの実例についてご紹介



- リアルタイム処理において、AWS Lambdaのようなサーバーレスアーキテクチャを活用することで簡便な実行環境管理及びスケーリングを可能に





Neural Pocket